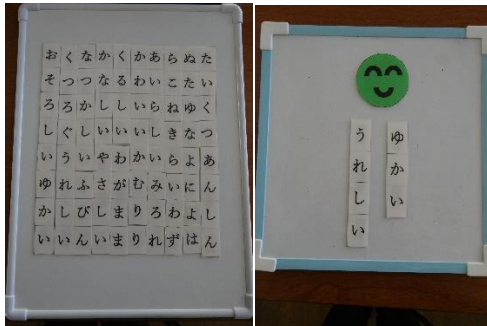


自作教具の活用事例

【作品名】 気持ちの言葉パズル	【学校名】 日上市立金沢小学校				
【活用できる領域・教科等】 感情の理解、コミュニケーションの基礎的能力	【制作者名】 依田 由実				
【制作の意図】 自分の気持ちを言葉に表現することが苦手な児童が、気持ちの言葉パズルでいろいろな言葉に触れることで、語彙の量を増やして、自分の気持ちを相手に言葉で伝えたり、また、相手の気持ちを理解したりできるようになる。	【使用方法】 気持ちの言葉がちりばめられたひらがなの中から、気持ちを表す言葉を探していく。見つけた言葉を表情カードとマッチングさせる。 日常生活の中でこのような表情になった出来事を話し合う。				
【制作上の工夫】 気持ちを表す言葉を縦書きにそろえ、いくつもの言葉を集めて、縦8文字×横10文字の計80文字のひらがなを並べる。隙間には適当なひらがなを埋める。 マグネットシールを付けてホワイトボードに貼り付けられることで、簡単に付け替えをすることができる。	【見取り図】 ・気持ちの言葉 1文字、縦3cm、横2cmの枠 裏にマグネットシールを貼る <table><tr><td>う</td></tr><tr><td>れ</td></tr><tr><td>し</td></tr><tr><td>い</td></tr></table> ・表情カード  直径5cmの円 裏にマグネットシールを貼る	う	れ	し	い
う					
れ					
し					
い					
【写真】 	【使用効果と応用発展】 ・個別でも、小集団の中でも、活用できる。 ・気持ちを表す言葉を探すために、ランダムに並んだひらがなをよく見る力がつく。 ・学年が上がるにつれて、言葉の数を増やしていき、気になる言葉は国語辞典を使って意味を調べたり、使い方を知ったりすることができる。				
【材料・材質・部品等】 ・ホワイトボード ・画用紙 ・色画用紙 ・マグネットシール ・ラミネートシート					